

令和4年度 第2回 坂出市中小企業・小規模企業振興会議 会議録

日時：令和4年10月21日（金）10：00～

場所：坂出合同庁舎4階 大会議室

<会議次第>

1. 開会
2. 会長挨拶
3. オブザーバー・委託事業者紹介
4. 坂出市中小企業・小規模企業実態調査の報告について
5. 振興ビジョンの素案について
6. 閉会

<出席委員>

14名（1名欠席）

<委員意見>

○坂出市中小企業・小規模企業実態調査の報告について

- ・今後の施策検討の際に、調査が必要な業種に対しては、ヒアリングや別途調査を行った方がよい。
- ・公的支援を活用しない、知らないという回答が多く、現在の施策は、企業のニーズとのズレが大きいということだと思う。
- ・回答率が低いのは関心がないことの表れではないか。事業承継を行わず、自分たちの代で終わりという層が多いのではないだろうか。
- ・支援に関する情報が多すぎて、企業がどれを活用すべきか判断できていないのだと思う。
- ・回答期間（約1ヶ月）の長さは妥当か。
→期間初期の回答が多かった。期間を延長したとしても大きく変化はしないと思う。
- ・結果について、事務局側で予想外だった点は何か。
→多くの企業が「従業員の能力」を自社の強みとして認識しているところである。
- ・人口減少が進む中、学生から選んでもらえるような企業づくりが必要である。SDGsやデジタルに関して関心が高くなっているので、採用の際の視点として欠かすことはできないと思う。そのような視点に基づく情報発信を戦略的に行っていく必要がある。
- ・大学では、インターンに参加する学生が多い。オンラインなどで、単位に関係なく複数回参加している。結果的にインターンでの経験を経て、就職先を決めることが多い。なので結構インターンは重要だと思う。香川大学の学生も地元で就職する割合が高いので、学生は域外企業ばかりを見ているわけではない。学生の目線と企業のPRとのミスマッチにより、機会をロスしているのではないだろうか。

○振興ビジョンの素案について

- ・ビジョンや施策は日本健幸都市連合の3つのテーマに沿うものなのか。
→市民ニーズと企業の興味関心を起点に健幸に繋げていきたいと思っている。結果的にはテーマに沿うものになることも考えられる。
- ・施策の中で実証実験を行う予定はあるのか。また、ベンチマークとするような先行事例はあるのか。
→いくつか想定している先行事例（岡山県奈義町等）はあるが、必ずしも前例が必要であるとは考えていない。前例がない場合などに実証実験等を活用しながら、スモールスタートさせていく必要がある。
- ・支援という言葉が多く見られるが、誰が支援するのかが見えてこない。若年層に対する起業支援が最も大事であると思う。行政は発信力が弱いため、アプリのような時代に沿った発信方法を模索する必要がある。
- ・流れを聞くと理解はできるが、企業がコスト、人材、IT対応に直面し大変な中で、「健やかに幸せに」という表現は現状の即していないのではないかと。もっと地域内の全ての主体ががんばる意識が表れる言葉があってもいいのではないかと。
→中期目標を定めるなど、様々な可能性を検討していきたい。
→最終目標はころころ変えずに基本施策で短期的な目標を目指すべきである。
- ・健幸のまちづくりの方向性によって、アンケートで表面化した課題が全て解決できるとは思えない。まちが賑わうことで個人事業主のような事業者も潤うので、健幸では賑わいという視点が欠けているのではないかと。
→企業支援を通じてまちづくりに寄与していきたいと考えている。既存の健幸の概念に捕らわれる必要はないと思っている。
- ・アンケートの中で、コロナへの対応をしていない事業者が多いということは、どこに助けを求めたらいいのか分からない企業が多いということだと思います。情報発信やPRの方法は、全体を通して検討していくべきだと思います。
- ・地域全体を見た時にアンケート結果よりも状況は悪化しているのではないかと。行政だけではなく地域の支援機関が一体となって取り組んでもらいたい。
- ・振興会議のメンバーは各自がネットワークを持っているので、振興会議のネットワークそのものを活用して、支援体制として情報発信していくことは良いと思う。
- ・補助金に頼らない企業支援を目指している県内自治体もある。ワークショップ等の仕掛けが必要だと思う。
- ・ヘルスケアの施策では、既存の企業の取り組みに合わせて、行動変容をどのように促すかが重要となってくる。
- ・アンケート結果について、掘り下げは行うのか。現状では分析が足りないのではないかと。
→具体的な施策を考える際に、必要に応じて行う予定である。

- ・ 施策を考える際に、基本指針の中で具体的なイメージを示してほしい。
- ・ 基本的な方向性は問題ないと思う。後は具体的な内容を盛り込んでいく必要がある。アンケートは全体的に元気がない印象を受ける。

○今後の方向性

- ・ 今回の意見を基に、振興ビジョンの修正を行う。
- ・ 基本施策ごとにワーキンググループを開催し、具体的施策を検討する。
- ・ 第3回会議では、具体的施策を議論する。